

2024年5月27日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

理光フロートテクノロジーの事業承継を完遂

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志）が運営するニューホライズン3号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、本日付で理光フロートテクノロジー株式会社（本社：大阪府富田林市、代表取締役 尾形隆、以下「RFT」）の発行済株式の81.97%を保有する特別目的会社（U-TEC 興産株式会社）の全株式を、RFTの代表取締役尾形隆が設立した株式会社 BLISS（本社：大阪府富田林市、代表取締役 尾形隆）に譲渡いたしました。

RFTは1965年の創業から約60年に亘って工業用フロートの専門メーカーとして歩んで参りました。2020年には経済産業省の選定する「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に選ばれており、また、現在では世界で唯一のフロート専門メーカーとして質の高い製品を市場に供給するなど、国内外からその実力を認められている企業です。

弊社は2021年3月に創業者から株式を譲り受けるとともに、当時常務取締役であった尾形隆氏の後継経営体制を構築することを目的に、管理部門の強化、ガバナンスの適正化、生産性向上等の支援を行って参りました。今般、後継経営体制の構築に一定の目途が立ち、メインバンク等の支援を得てマネージメントバイアウト（MBO）による株式譲渡に至りました。

RFTへの投資ではメインバンクが事業承継のニーズ喚起、案件化、株式譲渡先の選定、CFO派遣、MBOの資金支援を実施、弊社が投資後の経営体制構築のためのハンズオン支援を実施するなど、メインバンクとPEファンドが協働して、地域の優良企業の事業承継を実現したモデルケースになるものと考えております。

RFTが新体制のもと、今後も更なる発展をされることを祈念しております。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO/平世美装等、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921